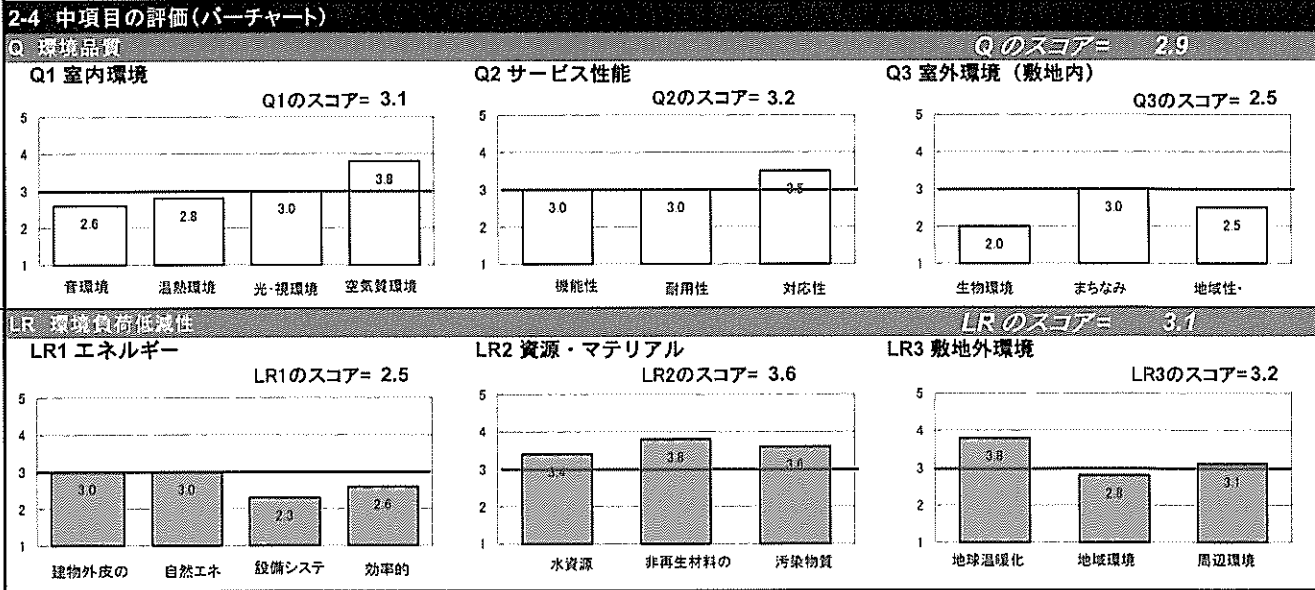
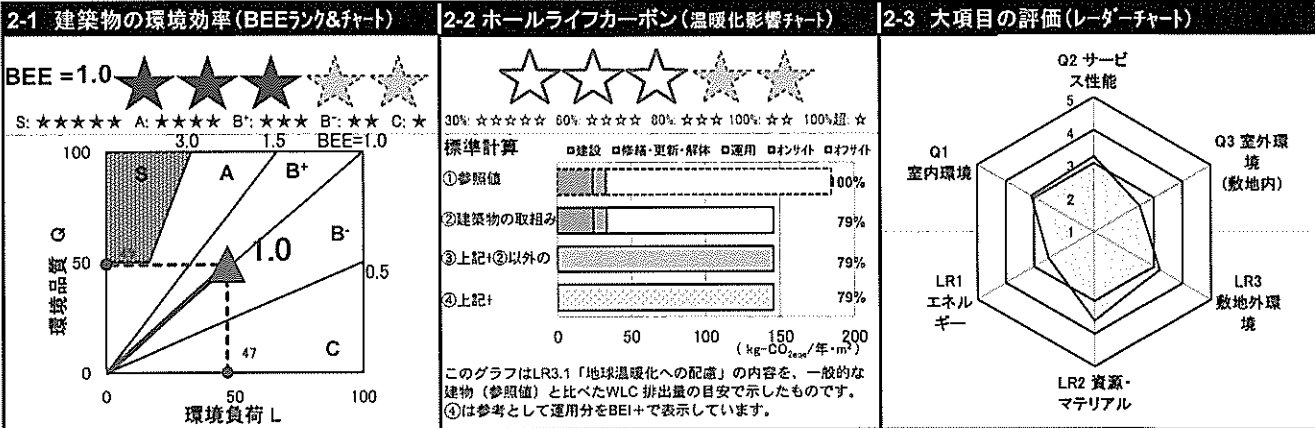


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)平和堂大久保店 新築工事	階数	地上2F、地下1F	
建設地	京都府城陽市平川室木83番2外28号	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、準防火区域	平均居住人員	500 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店、飲食店、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2026年6月3日	
敷地面積	8,484 m ²	作成者	株式会社悠設計 宮本	
建築面積	4,533 m ²	確認日	2026年6月3日	
延床面積	12,171 m ²	確認者	株式会社悠設計 宮本	



3 設計上の配慮事項			その他
総合			
・京都府城陽市に建設される物販店舗の計画である。 ・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、WLC排出率の低減に努めている。			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
・ほぼ全面的にF★★★★の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	・壁長さ比率に余裕を持たせ、ゆとりのある計画とし機能性にも配慮している。	・周辺のまちなみや景観に対して配慮している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
・効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される